

2018年9月4日

課題名：循環器疾患患者における自宅での服薬遵守を妨げる因子に関する検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、自宅での内服薬の服薬状況を調べ、正しく服用できない要因を探ることによって、自宅で正しく薬を服用できることを目指し、今後のよりよい薬剤師介入を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2017年1月から、2017年11月までの間に、循環器内科病棟に1週間以上入院された方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、入院前服用薬剤数、入院前に受診中の内服処方がある医療機関数・診療科数、入院前服用薬の管理者、患者自身の申告による入院前服用遵守の評価、薬剤師による服用遵守率評価、調剤形態、1日の服用回数、認知症の有無、同居家族の有無、介護認定の有無

◆研究方法◆

本研究は上記情報を過去の診療録（カルテ）などから抽出し、自宅での服薬遵守低下の要因を解析し、今後の処方内容の改善に生かします。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

薬剤部 研究責任者 菅 直恵

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明